

2022年3月末現在

すいぶん

No.157
2022

事業所数	19社
被保険者数	1,644人
被扶養者数	1,666人

神戸新聞健康保険組合

神戸市中央区東川崎町1-5-7

☎(078)362-7166

医療費増見据え赤字予算

2022年度健保組合 料率9.5%据え置き

◇2022年度 経常収入支出予算概要（一般勘定）

単位：千円

		2022年度	2021年度	前年度比
経常収入		1,009,666	1,023,049	-13,383
内訳	健康保険収入	1,000,766	1,013,867	-13,101
	保健事業収入	4,545	4,545	0
	雑収入ほか	4,355	4,637	-282
経常支出		1,107,099	1,098,152	8,947
内訳	事務費	49,422	49,633	-211
	保険給付費	480,240	449,628	30,612
	納付金	533,629	554,372	-20,743
	保健事業費	38,741	39,439	-698
	その他	5,067	5,080	-13
経常収支		-97,433	-75,103	-22,330

1億超、積立金取り崩し

神戸新聞健康保険組合の2022年度予算が組合会で承認された。コロナ禍による受診控えの反動も見据え、医療費に当たる保険給付費の増加に備えるため9700万円の経常赤字予算を編成。別途積立金から1億2000万円の繰り入れて収支の均衡を図った。保険料率は9.5%。5年間にわたって据え置かれる。組合会はまん延防止等重点措置継続中の2月14日、初のオンライン形式で開催された。

収入

基礎となる被保険者の平均標準報酬月額が51万3000円（前年度比2000円増）、総標準賞与額は6億1260万円（同1099万円増）を見込む。コロナ禍による経済環境などを踏まえ、21年度の見込み数字額を基礎に、育児休業者ら保険料免除者の分を差し引いて予算数値とした。被保険者数は過去5年の伸び率から推計した1646人（同32人減）。収入の大半を占める健康保険収入は、これらの数字と保険料率9.5%から算出した保険料収入10億54万円など計10億76万円（同1310万円減）となる。

人間ドックやがん検診の自己負担などを計上する保健事業収入、雑収入を合わせた経常収入は10億966万円。前年の10億2304万円から1338万円の減少を見込んでいる。

支出

保険給付費は4億8024

万円（前年比3061万円

増）。主な内訳は家族を含め

た療養費が3億1584万円

（同1163万円増）、薬剤費

が1億757万円（同243

5万円増）、家族を含めた出

産一時金・手当金が1300

万円（同597万円減）で、薬

剤費は1億円の大台に乗る。

納付金は5億3362万円

で大きなウエートを占める新

料率算出に関して、支出面

介護保険

料率引き下げ1・78%

（同2074万円減）。前期高

齢者納付金が2億8033万

円（同1038万円減）と過

去最高水準だった21年度から

下がりに、後期高齢者支援金も

2億5328万円（同103

6万円減）となった。

保健事業費は3874万円

（同69万円減）。人間ドック受

診補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

診療補助は前年並みを見込み、

保険料率の 検討委発足

健康保険組合の保険料率の

今後について考えていく「保

険料率検討委員会」が発足。

2月14日に初会合を開いた。

理事長、専務理事、常務理事

のほか、主な事業所、労働組

合の議員が委員を務める。

保険料率は2018年度、

9・0%から現行の9・5%

に引き上げられて以来、22年

度を含め5年にわたって据え

置かれている。この間、料率

に関しての話し合いはあまり

行われておらず、高齢化の加

速で医療費の誇張が見込まれ

る中、将来的な料率の在り方

について議論していく。

PAGE (ページ) が新加入 4月から、組合は20事業所に

神戸新聞グループ企業で古民家等の活用、情報発信事業を行う「PAGE (ページ)」=本社・神崎郡福崎町、箸本史朗社長=が4月から神戸新聞健康保険組合の一員となる。

同社は2018年設立、福崎町内の古民家を改装した複合ホテル「NIPPONIA (ニッポニア) 播磨福崎 蔵書の館」などを手掛けている。グループ企業からの出向という形だったスタッフを、同社の直接雇用に取り替えたのを受けて当健保組合に加わるようになった。

近畿厚生局の認可を経て正式加入。当組合への新規加入は09年のデイリースポーツ・クオリティ以来で、事業所数は20になる。

21年度は黒字決算見込み

新年度予算を審議した組合

会では、21年度の決算見込み

について、予算段階では経常

赤字としていたが、黒字で終

える見込みであることが報告

された。

コロナ禍に伴い、20年度に

続いて医療機関の受診控えの

傾向がみられ、年間の保険給

付費が4億円を下回る水準に

◆春の定期健康診断案内◆

神戸新聞グループの全従業員を対象にした「2022年度春季定期健康診断」を5月に実施します。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、入口で検温を実施。発熱のある方や風邪などの症状がある方は受診を見合わせてください。

サンテレビジョンは本社移転に伴い、昨秋と同様に神戸新聞本社（情文ビル）での受診となります。春の健康診断は受診項目も多いことから、

混雑回避のため時間差受診への一層の協力をお願いします。例年通り4、5月の人間ドック受診者は、その結果をもつて春の定期健康診断の代用とすることができます。ドック受診結果表のコピーと問診票を健保組合まで提出してください。

◆人間ドックの個人予約OKに

人間ドックの予約に関しては、昨秋分の予約が取りづら

くなったことから健保組合事務局ルートの予約以外に、個人が医療機関に直接連絡する個人予約を緊急措置として認めてきました。個人予約は予約調整がスムーズにできるといふメリットも大きいいため、今春分からの予約に関しては個人予約を恒常的に認めて、予約方法は事務局予約と個人予約の2通りとします。ただし個人予約は日程確定後速やかに事務局に報告し、事務局から医療機関に再連絡することが条件となります。医療機関の連絡先は健保組合ホームページをご覧ください。

<個人での人間ドック予約方法>

- ①希望する受診機関に申込者が直接連絡
 - ②その際、必ず神戸新聞健康保険組合としての予約と伝える
 - ③予約が取れた場合、確認FAXを健保事務局から送りますと伝える
 - ④すぐに健保組合事務局（078-362-7166）まで連絡
 - ⑤ドック受診申込書に記入の上、事務局に提出
 - ⑥健保事務局から受診機関に確認FAX送信、正式な予約となる
- （注意）申込書提出の手続きがない場合は人間ドック補助の対象にはならず、受診料は全額、申込者が受診機関に支払うことになります。

※問い合わせは神戸新聞健康保険組合事務局まで
Tel 078-362-7166 Fax 078-361-7758

2022年春季健康診断日程

神戸新聞本社

5月23日（月）～27日（金）

9：30～12：00 13：30～17：00

女性は23日9：30～12：00 24日13：30～15：30
25、26日15：30～17：00

西神製作センター

5月10日（火）～13日（金）

15：00（10日のみ14：30）～17：00

女性は10日14：30～15：00

阪神製作センター

5月16日（月）、23日（月）

15：30～17：00

女性は16日15：30～16：00

※サンテレビジョンは神戸新聞本社受診

家族調査 今年も実施 18歳以上の扶養家族が対象

厚生労働省の運営指針に基づき、今年度も7月をめどに「家族調査」を実施します。組合の加入者（任意継続を除く）で18歳以上の扶養家族がいる人が対象となります。

被扶養者の資格がない人が加入したままの場合、国への納付金などの算出で健保財政

◆被扶養者から外れる時は異動届を

春は新生活が始まる季節です。被扶養者に次のようにな

とがあった場合などは被扶養者から外れます。保険組合に被扶養者異動届を提出して、保険証を返却してください。
・就職して勤め先の健康保険に加入したとき
・年収が増えて130万円以上となったとき（60歳以上または障害者の方は180万円以上となったとき）
・別居している被扶養者への仕送り額が被扶養者の収入より少なくなったとき

公告

2022年2月14日、第196回組合会がオンライン会議形式で開かれ、同年度の介護保険料率改定が下記のとおり承認されましたので公告します。

【介護保険料】

<改正後> 17.80/1000
(2022年3月徴収分から適用)
<改正前> 18.00/1000
負担割合 事業主 8.90/1000
被保険者 8.90/1000

以上

2021年秋季健康診断 受診率は微増93.4% 有所見率52.2%に改善

◆2021年秋季定期健診受診率

	対象者	受診者	受診率%	21年春%	20年秋%
神戸新聞	801	776	96.9	96.1	96.1
	被保険者 765	757	99.0	98.7	97.6
	未加入者 36	19	52.8	39.9	50.0
輸送センター	30	24	80.0	88.4	100.0
	被保険者 21	21	100.0	100.0	100.0
	未加入者 9	3	33.3	63.6	100.0
神戸新聞事業社	71	70	98.6	100.0	98.7
KCC	30	28	93.3	100.0	91.9
健保組合	3	3	100.0	100.0	100.0
ラジオ関西	51	51	100.0	100.0	94.3
サンテレビ	151	129	85.4	79.2	81.3
DS	97	89	91.8	96.6	94.3
サン神戸	19	18	94.7	100.0	100.0
総合印刷	164	138	84.1	85.7	78.3
	被保険者 138	138	100.0	100.0	98.6
	未加入者 26	0	0.0	19.4	4.9
神戸新聞興産	24	24	100.0	100.0	100.0
総合折込	32	32	100.0	100.0	100.0
文化財団	4	4	100.0	100.0	100.0
厚生事業団	2	2	100.0	100.0	100.0
京阪神エルマガ				90.8	
地域創造	32	32	100.0	100.0	100.0
新聞会館	15	15	100.0	100.0	100.0
DSクオリティ	46	45	97.8	97.8	100.0
任意継続	31	18	58.1	60.0	57.5
合計	1,603	1,498	93.4	93.1	92.0

※秋季定期健康診断を京阪神エルマガは実施せず。輸送センターは夜勤者のみ実施。

2021年秋季定期健康診断の受診率（アルバイトなど未加入者含む）は93.4%と、同年春から0.3ポイント増加した。20年はコロナ禍第1波の影響で春・秋とも受診率は低迷していたが21年はともに93%を上回るレベルに回復した。

◆新常務理事に柴田氏

神戸新聞社とグループ各社の春の異動に伴い、神戸新聞健康保険組合の新常務理事に柴田大造氏（神戸新聞社総務

局長）が2月25日付で就任しました。選定理事の交代も下表の通りありました。任期はいずれも2023年9月20日までです。（敬称略）

健保組合、ラジオ関西、興産、総合折込、文化財団、厚生事業団、地域創造、新聞会館の8事業所で受診率100%となった。輸送センターと総合印刷は被保険者に限れば全員が受診した。京阪神エルマガは秋の健診を実施せず、

輸送センターは夜勤者のみを対象に行っている。

受診者の総合判定でC（要経過観察）、D（要治療）、E（要精密検査）、F（治療中）となっている人の割合を表す

57%台と過去最悪の水準だったが、5ポイント以上改善した。検査項目別にみると肝機能（26.2%）、血糖（17.6%）、血糖（10.9%）が10%を超え上位を占めている。昨秋は

＜常務理事＞

（旧） 鑛 隆志
（新） 柴田 大造

神戸新聞社総務局長

＜理事＞

（旧） 田畑 道昭
（新） 国村 正五

神戸新聞社販売局長

（旧） 柴田 大造
（新） 小本 淳

神戸新聞社編集局次長

◆平均標準報酬月額 31等級 53万円に改定

昨秋のすこやか第156号で公告したように、健康保険法第47条第2項に規定する神戸新聞健康保険組合の2021年9月30日現在の平均標準報酬月額額は、31等級53万円（前年は30等級50万円）です。

退職後、任意継続者として組合に加入されている方の保険料は、平均標準報酬月額または本人の従前の標準月額のうち、いずれか低い額で算出します。適用は2022年4月から。

◆父親向け育児冊子を配布

22年度の保健事業では、人間ドックや家族巡回健診、健康指導冊子の配布といった従来事業を継続するほか、父親になった被保険者に冊子「パパ育児のトビラ」の配布を始めます。また秋以降に歯周病予防への取り組みも計画しています。

詳細は決まり次第お伝えします。健康組合の保健事業は次ページにまとめています。ご覧ください。

保健事業一覧

神戸新聞健康保険組合の「2022年度保健事業」一覧です。健康維持・増進に、ご活用ください。

●疾病予防

種目	対象者	費用の負担	内容
特定保健指導	40歳以上の各種健診受診者の健診結果を基に健保組合が該当者と判断した方	全額健保組合負担	対象者に実施機関等詳細をお送りします。
特定健康診査	40歳以上の被扶養者	全額健保組合負担	実施期間：6月～翌年3月 希望の場合は健保組合へご連絡下さい。
家族巡回健診	30歳以上の被扶養者（男性は近畿地区のみ受診可能）	自己負担額：3,000円 （オプション検査は全額本人負担）	被保険者が受ける定期健康診断と同じ内容を受診できます。 ご自宅へ申込書と案内を郵送します。
人間ドック	原則35歳以上の被保険者（一部条件あり）・被扶養者（女性は30歳以上から）	自己負担額： 被保険者5,000円 被扶養者6,000円 脳ドックは当日医療機関で差額が必要 （オプション検査は本人負担）	契約医療機関で実施。
レディースドック			
脳ドック			
PET検診補助	50歳以上の被保険者	健保組合から60,000円を補助	医療機関の指定はありません。申請用紙に領収書を添えて提出下さると補助いたします。
大腸がん検診	被保険者・被扶養者	自己負担額：1,000円 （給与引き）	郵送による便潜血反応検査と子宮頸がん検査を実施。申込書と案内を自宅へ郵送します。
子宮がん検診		自己負担額：500円 （給与引き）	
ブレストケアクラブ	女性被保険者	無料	乳がんの自己触診補助具配布。
家庭用常備薬斡旋	被保険者	全額自己負担 （給与引き）	年1回実施。自宅に申込書を郵送します。
メンタルヘルス相談	被保険者・被扶養者	無料	専用の電話回線で、メンタル電話相談・面談を実施。

※ 人間ドック、レディースドック、脳ドック、PET検診、特定健康診査（被扶養者）、家族巡回健診（被扶養者）のうちいずれか1つを年度中1回利用できます。

●保健指導宣伝

種目	対象者及び内容
高齢者向け雑誌郵送	65歳以上の被保険者又は被扶養者に「ばらんす」を郵送します。
育児雑誌郵送	被保険者又は被扶養者が出産された家庭へ月刊誌「赤ちゃん」と、季刊誌「1・2・3歳」をそれぞれ1年間。父親になった被保険者に冊子「パパ育児のトビラ」をお届けします。
新規加入者向け冊子配布	新規加入者へ社会保険制度の啓発冊子「社会保険の知識」を配布します。
定健結果による健康指導冊子	39歳、49歳、59歳の被保険者に、それぞれの定健結果に基づいて健康づくりのアドバイスとなる冊子「マイヘルスレポート」を郵送します。
医療費通知	皆さんが受診された医療費の内訳を通知します。
ジェネリック差額通知	先発薬品を利用されている方でジェネリック医薬品に切り替えた場合に見込まれる差額をお知らせします。